

まえがき

本報告書は課題別研究「言語に障害のある子どもへの教育的支援に関する研究－吃音のある子どもの自己肯定感形成を中心に－（平成16年度－平成18年度）」の研究成果をまとめたものです。

吃音については、人類が抱える古来からの問題であるにもかかわらず、原因をはじめとして未だ分かっていないことが多くあります。これまでに多くの研究者、臨床家、そして吃音者が様々な取り組みを行ってきていますが、吃音の症状を確実に改善する方法は、現在までのところ見い出されていません。症状が消失して流暢に話すようになった人もいれば、生涯吃音の人もいます。

吃音は日常生活において、流暢に話せない、つっかえる、ことばの最初の一音が出てこない等、話すことにおける不便さもありますが、話すことへの不安、周囲他者への恐怖、自己否定といった、吃音があることによって生じる深刻な問題を抱えることも、さらにはそれが人生を左右する問題につながることも少なくありません。

吃音の科学的な原因究明や、治療法の開発に向けての研究が進められたり、周囲・社会の吃音に対する誤解や迷信の払拭、吃音の理解啓発が進められていく一方で、現状においては吃音のある子どもが、吃音に翻弄され続けられないで、上手く折り合い、自己を保っていくことができるような教育・支援の在り方を追究していくことも求められています。

言語に何らかの困難を抱える子どもは少なくありませんし、言語障害教育が抱える課題は多くありますが、その中で本研究は上記のような現状を受けて取り組まれました。

本報告書の標題「吃音のある子どもの自己肯定感を支えるために」は、本研究の中心的課題を表したものです。本報告書が吃音のある子どもの指導・支援の充実に寄与するものとなれば幸いです。

本研究に直接ご協力いただいた研究協力者、研究協力機関の皆様、また様々な形でお力添えいただいた、各地の吃音のある子どもの教育に関わる先生方、保護者の方、そして吃音者の方々に深く感謝申し上げますとともに、今後も多くの皆様からご支援・ご助言いただけますよう祈念する次第です。

平成19年3月

研究代表者 牧野泰美

目 次

まえがき

研究組織

第1章 はじめに

- ・研究の概要と本報告書の構成について…………… 牧野泰美…………… 1

第2章 研究の枠組みと論点

- ・吃音のある子どもの指導・支援における課題について
－自己肯定感を支えることの意義－…………… 牧野泰美…………… 5

第3章 基礎的知見を踏まえて

- ・吃音問題について……………小林宏明…………… 19
- ・吃音のある子どもの自己肯定感の形成をめぐって
－関係性の中で作られる自己への支援という視点から－……………伊藤由美…………… 37
- ・吃音のある子どもの自己意識と自己肯定感を高める支援……………廣 寛 忍…………… 45

第4章 ことばの教室における指導・支援の現状

- ・吃音のある子どもの自己肯定感へのアプローチ
－ことばの教室における実践－……………松村勘由…………… 53
- ・吃音指導におけることばの教室担当者の悩み……………後上鐵夫…………… 65

第5章 ことばの教室からの実践報告とその検討

- ・吃音児の自分らしさを育むことばの教室……………伊藤修二…………… 69
- ・出会いから始まる主体的な学び……………桑田省吾…………… 79
- ・ことばの教室におけるグループ指導
－子どもの自己肯定感形成との関連を考える－……………青山新吾…………… 99

第6章 教材開発とそれを用いた実践

- ・子どもとともに吃音と向き合うための教材開発の試みと実践……………瀧田智子…………… 117

第7章 学校・教室以外の場における取り組み

- ・デイ・キャンプの取り組みから……………板倉寿明…………… 125
- ・「中・高校生の吃音のつどい」の実践報告……………松村玲子…………… 133

第8章 おわりに

- ・まとめと課題……………牧野泰美…………… 145

資料

- ・吃音教育セミナー報告……………牧野泰美…………… 149

あとがき

研究組織

○研究協力者

- 青山新吾（岡山市立石井小学校）
- 伊藤修二（益田市立安田小学校）
- 桑田省吾（神戸市立本山第三小学校）
- 小林宏明（金沢大学教育学部）
- 松村玲子（豊島区立池袋小学校）

○研究協力機関

岐阜吃音臨床研究会

<代表協力者：廣寫 忍（岐阜大学教育学部）・板倉寿明（岐阜県立中濃養護学校）>

ことばの臨床教育研究会

<代表協力者：瀧田智子（北区立王子小学校）>

○所内研究分担者（*印 研究代表者）

伊藤由美（教育相談部心理療法士）

後上鐵夫（教育相談部長）

* 牧野泰美（企画部主任研究員）

松村勘由（教育研修情報部総括研究員）

※所属は平成19年3月現在。

